

成 29 年度 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

1. 一般財団法人社会通信教育協会体制

1) 役員、事務局 (任期：平成 29 年 6 月 14 日より 2 年間)

会 長 井出 久
専務理事 鈴木 久善 (事務局長兼務)
理事 清水都岐子・堀口 一秀・引野 隆志・香川 明夫・荒井 彰
参 与 葛西 孝章・長谷川 至
顧 問 山本 恒夫・石橋 桂一・品川 恵保・岩城 建雄・山内一朗

2) 評議員・監事 (任期：平成 29 年 6 月 14 日より 4 年間)

監 事 大日方郁夫
評 議 員 金谷 光荣・木村 光男・宮原 正和・小久保 清吉・佐藤 浩二
高松 輝江

3) 税務会計委嘱 木澤 進 (木澤進税理士事務所長)

2. 理事会・評議員会・例会の開催

1) 平成 29 年度 第 1 回理事会

日 程＝平成 29 年 5 月 24 日 (水)
場 所＝中央工学校生涯学習センター 会議室
議 題＝第 1 号議案 平成 28 年度事業報告(案)に関する件
第 2 号議案 平成 28 年度収支報告(案)に関する件
第 3 号議案 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書(案)に関する件
第 4 号議案 評議員会召集及び提出議案に関する件

2) 平成 29 年度 第 1 回評議員会

日 程＝平成 29 年 6 月 14 日 (水)
場 所＝中央工学校生涯学習センター 会議室
議 題＝第 1 号議案 平成 28 年度事業報告に関する件 (報告)
第 2 号議案 平成 28 年度貸借対照表、損益計算書、付属明細書 (案)
に関する件 (承認)
第 3 号議案 公益目的支出計画報告書に関する件 (承認)
第 4 号議案 任期満了に伴う理事・監事・評議員の改選に関する件

3) 平成 29 年度 第 2 回理事会

日 程＝平成 30 年 3 月 14 日 (水)
場 所＝中央工学校生涯学習センター 会議室
議 題＝第 1 号議案 平成 30 年度事業計画 (案) に関する件
第 2 号議案 平成 30 年度収支予算 (案) に関する件

4) 月例理事会・例会

日 程＝平成 29 年 4 月 12 日、5 月 24 日、12 月 13 日
平成 30 年 2 月 14 日、3 月 14 日
場 所＝中央工学校生涯学習センター 1 階 102 教室

*12月例会のみ（学）香川栄養学園女子栄養大学にて行われた。

3. 委員会メンバーの任命

第1回理事会(平成29年5月24日)において、以下の通り委員会メンバーが承認され、任命された。(敬称略)

委員会名	委員長	副委員長	委員
人材バンク委員会 担当理事 引野隆志	高松輝江 (栄養)	中村崇 (NHK)	川本(書道)、福田文子(服装)、藤木俊彦(NOMA)、桜井康之(経営教育) 酒井千恵(事務局)
表彰委員会 担当理事 荒井 彰	長谷川 至 (経営教育)	荒井 彰 (日本通信) 葛西孝章 (日本習字)	森川基和(国際文化)、高松輝江・亀田(栄養)・保坂正春(川口学園)、鈴木久善・酒井千恵(事務局)(大臣賞当日の委員は、受賞者のある団体から1名以上)
70周年事業委員会 担当理事 鈴木久善・引野隆志	引野隆志 (NOMA)	荒井 彰 (日本通信)	福田文子(服装)、佐藤浩二(中央工)、村岡敏朗(公開経営)、井上秀之(清水きもの)、長谷川至(経営教育)、葛西孝章(日本習字)・

4. 平成29年度の加盟団体(平成30年3月31日現在)

秋田大学理工学部通信教育講座、日本英語検定協会、日本通信教育学園、国際文化カレッジ、日本書道教育学会、文化服装学院、中央工学校生涯学習センター、女子栄養大学生涯学習センター、早稲田通信教育センター、日本経営協会、公開経営指導協会、清水とき・きものアカデミア、産業能率大学、日本経営教育センター、日本放送協会学園、日本習字教育財団(以上16団体)

5. 文部科学大臣表彰式等の開催

1) 第68回文部科学大臣賞表彰式・祝賀会

日 時=平成29年4月20日(木)

表彰式 13:00~13:45 祝賀会 14:30~16:00

会 場=表彰式は文部科学省講堂、祝賀会は東海大学校友会館35階望星の間

表 彰=受賞者数 44名

式次第=表彰状授与:文部科学省生涯学習政策局長 有松 育子(文部科学大臣代理)

式 辞:同上

祝 辞:社会通信教育協会会長 井出 久

謝 辞:受賞者代表 綾野 一生(川口学園)

祝賀会=挨拶:文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長 萬谷 宏之

// :文部科学省生涯学習政策局生涯学習総括官 佐藤 安紀

6. 文部科学省認定社会通信教育・総合案内の作成

内 容＝岸本 哲也（文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長）・井上 孝美（社会教育団体振興協議会会長）・山本恒夫（筑波大学名誉教授・元中央教育審議会委員）・井出 久（社会通信教育協会会長）の推薦文、加盟団体の講座紹介、文部科学大臣表彰制度、生涯学習インストラクター制度等の概要説明。

体 裁＝A4・4C・8P・両観音折・案内書請求ハガキ付き。

配布先＝全国都道府県市町村教育委員会、生涯学習センター、図書館、公民館、法務省関係等。

7. 生涯学習インストラクターに関する事業

1) 生涯学習インストラクター登録者の現況（平成30年3月31日現在）

生涯学習インストラクター制度は、文部科学省の指導のもとに平成4年3月に発足した。本年度及び累計登録数は次の通りである。

級 位	平成29年度登録数	累計登録数
生涯学習2級インストラクター	171名	24,905名
生涯学習1級インストラクター	47名	5,816名
合 計	218名	30,721名

2) 生涯学習インストラクター・コーディネーター機関紙の発行

生涯学習インストラクター・コーディネーター機関紙を次の通り発行し、文部科学省・全国都道府県市町村教育委員会、生涯学習センター、主要公民館、主要図書館、法務省関係、生涯学習インストラクター、生涯学習コーディネーター等に配布。

・機関紙 第46号（平成29年9月1日発行）A4・8P・4,000部発行

内 容＝「文部科学省認定社会通信教育70周年を迎えて」山本 恒夫(筑波大学名誉教授)

「地域と学校の連携・協働の必要性」佐藤 貴大（文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学校協働推進室 室長補佐）

「栃木県における生涯学習の推進について」井上 昌幸（栃木県教育委員会事務局生涯学習課 課長補佐）、その他、生涯学習インストラクター・コーディネーター短信等

・機関紙 第47号（平成30年1月5日発行）A4・8P・3,000部発行

内 容＝「人生100年時代に学ぶ」銭谷 眞美（東京国立博物館長）

「文部科学省の生涯学習施策について」萬谷 宏之(文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 課長)

「仙台市市民センターにおける生涯学習事業について」佐藤 ゆうこ（仙台市教育委員会生涯学習支援センター長）、その他、生涯学習インストラクター・コーディネーター短信 等

3) 文部科学省生涯学習政策局の推進する事業について協力

「子どもの生活リズム向上プロジェクト・早寝早起き朝ごはん国民運動」

「放課後子どもプラン・放課後子ども教室推進事業」

生涯学習インストラクターの会が全国各地で上記の事業を推進し、多数の会員が講師やボランティアで参加した。

8. 文部科学省認定社会通信教育 70 周年記念事業の開催

日 時＝平成 29 年 10 月 13 日（金）

場 所＝国立オリンピック記念青少年総合センター・国際交流棟・国際会議室

式次第＝70 周年記念式典・感謝状贈呈式（午後 1 時～午後 2 時）

開式の言葉：社会通信教育協会 理事 堀口 一秀

経過報告：社会通信教育協会 理事 引野 隆志

式 辞：社会通信教育協会 会長 井出 久

祝 辞：文部科学省事務次官 戸谷 一夫

祝 辞：社会教育団体振興協議会会長 御手洗 康

文部科学大臣感謝状授与：文部科学省事務次官 戸谷 一夫

特別顕彰状・感謝状贈呈：社会通信教育協会 会長 井出 久

閉式の言葉：社会通信教育協会 理事 荒井 彰

懇親会＝70 周年記念懇親会（午後 2 時 10 分～午後 4 時）

開会の言葉：社会通信教育協会 理事 香川 明夫

挨拶：社会通信教育協会 会長 井出 久

祝 辞：文部科学省生涯学習政策局長 常盤 豊

祝 辞：東京国立博物館 館長 銭谷 眞美

乾 杯：筑波大学名誉教授 山本 恒夫

閉会の言葉：社会通信教育協会 副会長 清水都岐子

9. 第 12 次「まなびの達人・あそびの達人」認証式・文部科学省認定社会通信教育 70 周年記念「特別感謝状」贈呈式

日 時＝平成 30 年 3 月 17 日（土） 11 時～12 時

場 所＝国立オリンピック記念青少年総合センター・国際交流棟・国際会議室

式次第＝開式のことば：一般財団法人 社会通信教育協会常務理事 堀内 一秀
第 12 次「まなびの達人・あそびの達人」認証状授与

文部科学省認定社会通信教育70周年記念「特別感謝状」贈呈式
式 辞： 一般財団法人 社会通信教育協会会長 井出 久
祝 辞： 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長 萬谷 宏之
閉式のことば： 一般財団法人 社会通信教育協会理事 荒井 彰

10. 第15回生涯学習インストラクター・コーディネーター全国大会の開催

◎第I部

日 時＝平成30年3月17日(土) 13時～16時45分

場 所＝国立オリンピック記念青少年総合センター・国際交流棟・国際会議室

式次第＝開式のことば： 一般財団法人 社会通信教育協会常務理事 堀内 一秀

大会 挨拶： 一般財団法人 社会通信教育協会会長 井出 久

挨拶： 文部科学省生涯学習政策局長 常盤 豊

基調講演： 筑波大学名誉教授 山本 恒夫

特別講演： 女子栄養大学教授 金子 嘉徳

学校支援・地域活動の実例(5例)

アドバイザー 国立中央青小年交流の家所長 山本 裕一

今後の課題 八洲学園大学教授 浅井 経子

○表彰者数・参加者数のまとめ

全国大会参加者数…198名

◎第II部

日 時＝平成30年3月17日(土) 17時～19時

場 所＝国立オリンピック記念青少年総合センター・国際交流棟・レセプションホール

式次第＝開式のことば： 一般財団法人 社会通信教育協会常務理事 引野 隆志

挨拶： 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室長
伊佐敷 真孝

挨拶と乾杯： 筑波大学名誉教授 山本 恒夫